

令和6年度 保健体育科 授業改善推進プラン

大田区立糀谷中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

一般的な傾向として、中学校入学までの運動の経験不足による基礎体力、調整力の低下が指摘されており、本校でも同様の傾向が見られる。また、特に入学時の1年生の状況は、集団で行動するときのルールやマナー・規範意識の低い生徒が多く、それを身に付けることも課題である。一方で運動に親しみを持って取り組んでいる生徒は多く、数多くの競技・ゲームを通じて、規律ある行動と各種目の技能を学習させることが目標である。

(2) 課題

- ・基礎体力の向上、運動技能の習得、調整力の向上のために敏捷性や巧み性、柔軟性を身に付ける。
- ・学年や技能に応じたルールを設定し、競技やゲームを通して、集団の中での規範意識を高める。
- ・運動に親しみを持って取り組む姿勢の伸長を図りつつ全身持久力を向上させる。
- ・運動や健康、安全に関する知識・理解を深めることによって、運動や危機管理の必要性を理解させる。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和6年度結果	令和5年度結果	令和4年度結果
第1学年	集団行動の中で、話を聞く・ルールを守って競技するなど、規範意識が低い生徒が多い。		
第2学年	集団行動の中で、話を聞く姿勢・ルール・規範意識を身につけ、意欲的に取り組む生徒が増えてきた。	集団行動の中で、話を聞く・ルールを守って競技するなど、規範意識が低い生徒が多い。 (第1学年時)	
第3学年	集団行動の中で、話を聞く姿勢・ルール・規範意識を身につけ、意欲的に取り組み、自主的に課題を見つけ活動する生徒が増えてきた。	集団行動の中で、話を聞く姿勢・ルール・規範意識を身につけ、意欲的に取り組む生徒が増えてきた。 (第2学年時)	集団行動の中で、話を聞く・ルールを守って競技するなど、規範意識が低い生徒が多い。 (第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
・運動の技能に関わる知識は高く、おおむね理解されているが、健康・安全に関する知識の理解度は低い。 ・運動の技能の高い生徒と苦手としている生徒の二極化。敏捷性や巧み性・持久力柔軟性の低下。	楽しい・面白いという意識に集中し、習得すべき課題や安全（危機管理）に対する判断や工夫ができていない。	指示をしっかりと聞くという姿勢が低く、言い訳をしてごまかすこともあり、集団行動ができない生徒が多い。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
・運動の技能に関わる知識は高く、おおむね理解されているが、健康・安全に関する知識の理解度は低い。 ・運動の技能の高い生徒と苦手としている生徒の二極化。敏捷性や巧み性・持久力・柔軟性が少しずつ習得されている。	技能の習得・仲間との協力や、安全に行うことの必要性を理解し活動している生徒が増えている。	指示をしっかりと聞き、意欲的に活動する生徒が増えてきている。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
・運動の技能に関わる知識は高く、おおむね理解されているが、健康・安全に関する知識も習得されつつある。 ・運動の技能に関わる知識は高く、おおむね理解されているが、健康・安全に関する知識も習得されつつある。	楽しい、面白いと感じて取り組むためには、技能の習得・仲間との協力や、安全に行うことの必要性を理解し活動している生徒が増えている。	授業や行事の中で、意欲的に活動できる生徒が増えてきている。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
・体育と保健の両分野から健康や安全に関する知識や理解を深めることにより、運動の技能の上達や危機管理の必要性を理解させる。得されつつある。 ・毎時間の授業の中で調整力や持久力を高めるために、主運動につながる補強運動やコーディネーショントレーニング等を取り入れ、敏捷性・巧み性・柔軟性・持久力を高めていく。	スポーツの楽しさや健康とのつながりを理解させ、自分の能力を知り、自主的に課題を見つけ習得すべき技術や、技術向上を目指す方法や判断力を身につけさせる。	基礎体力や運動技能の向上をめざし、運動への意欲を高めるとともに、整列、挨拶、指示しっかりと聞き、行動をする姿勢を身につけさせる。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
・体育と保健の両分野から健康や安全に関する知識や理解を深めることにより、運動の技能の上達や危機管理の必要性を理解させる。 ・毎時間の授業の中で調整力や持久力を高めるために、主運動につながる補強運動やコーディネーショントレーニング等を取り入れ、敏捷性・巧み性・柔軟性・持久力を高めていく。	スポーツの楽しさや健康とのつながりを理解させ、自分の能力を知り、自主的に課題を見つけ習得すべき技術や、技術向上を目指す方法や判断力を身につけさせる。	授業や行事の中で意欲的に取り組む姿勢をつくり、自主的に課題を見つけ、自己記録の向上を目指し、意欲を持たせる。集団行動や仲間との協力の大切さを理解させ活動させる。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
・ 体育と保健の両分野から健康や安全に関する知識や理解を深めることにより、運動の技能の上達や危機管理の必要性を理解させる。 ・ 毎時間の授業の中で調整力や持久力を高めるために、主運動につながる補強運動やコーディネーショントレーニング等を取り入れ、敏捷性・巧ち性・柔軟性・持久力を高めていく。	スポーツの楽しさや健康とのつながりを理解させ、自分の能力を知り、自主的に課題を見つけ習得すべき技術や、技術向上を目指す方法や判断力を身につけさせる。	授業や行事の中で意欲的に取り組む姿勢をつくり、自主的に課題を見つけ、自己記録の向上を目指し、意欲を持たせる。集団行動や仲間との協力の大切さを理解させ活動させる。